

部署紹介 トレーナーチーム



人を成幸へ導く者として
理想の人生を手に入れる者として
人格を高め続け、己を磨く。

左から（敬称略）
堀内博文、比嘉友彦、中村香月、権東武栄志、葉山倅成

WHAT
チーム
内容

人生を懸けたチャレンジに臨む人たちの最大の味方、最大の理解者となり技術面だけではなく、精神面、潜在意識に本質的な変化をもたらし関わる全ての人たちをより豊かな人生へと導いていくこと。

CHALLENGE
やりがい
・挑戦

自分にしかできない、自分らしい「何か」を見つけ一度きりの人生を最高の舞台として壁にぶつかり、もがきながらも「命」を燃やす姿に出会うことは言葉では言い表せない喜びがあります。一人でも多くの人が大切な人を大切にできる人生を創り上げていけるよう講座の質を高め、全国いや世界へとメッセージを届けていくことが僕たちの最大のチャレンジです。

FUTURE
なりたい
姿

誰よりも「人間臭く」生きること。綺麗事ではなく、生きた言葉を伝え続けること。関わる人の心に残り続けること。

OUR TEAM

祝 育休を終えた森高さんに直撃！

人生初の育休だったと思いますが、1ヶ月ほどの育休期間を経て、育休に対して思ったことがあれば教えてください。

「育休」は絶対取るべきものだな、と思いました。男では絶対に耐えられない命懸けの「出産」をしているので、少なくとも出産後1~2ヶ月は妻に徹底的に休んでもらうと決めていました。そのため、育休は本当にありがたいなと感じました。また、初めての育児は知らないことばかりなので、1つ1つできるようになるためにも、育児だけに集中できる時間は必要だと思います。

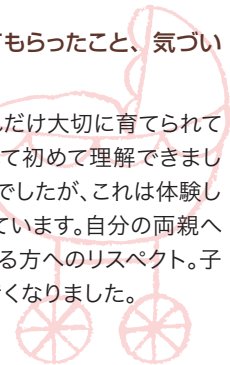
ずっと教育に携わった森高さんは、これからお子さんをどんなふう育てていきたいですか。

色々なことにチャレンジさせて、「失敗する」という経験をたくさん

積ませたいですね。これまで、教育の現場で2000人以上の子どもたちを見てきましたが、「失敗が怖い」という思い込みが強い子は本来持っている良さを発揮できませんし、自己肯定感も低い傾向にあります。東京大学を始め、海外の大学でも色々な研究が進んでいるように、「失敗することへの耐性」を早い段階でつけることがとても重要だと思っています。

父親になったことで、お子さんに教えてもらったこと、気づいたことはありますか？

「どれだけ親に愛されてきたのか？」「どれだけ大切に育てられてきたのか？」というのが、子どもが生まれて初めて理解できました。今までも、頭では分かっていたつもりでしたが、これは体験しないと、絶対に理解できなかったと思っています。自分の両親への感謝、そして、世の中の子育てをしている方へのリスペクト。子どもが生まれてから、これらが一気に大きくなりました。



僕の 私の この一冊！



「弱虫ペダル」 渡辺航
営業コンサルタント 佐藤優

私がお薦めするのは、漫画「弱虫ペダル」。

とある高校の自転車競技部のサクセスストーリーですが、読み始めると止まらなくなるのでご注意ください。「リーダーシップの本質」「人を信じ抜く在り方」など、生き方を学べる漫画になっています。自分は絶対にゴールする事はなく、エースを1位でゴールさせるために死力を尽くす「エースアシスト」荒北靖友の生き様は本当に痺れます！もしあなたが「スラムダンク」が好きなら200%ハマる漫画です。



「リフレクション (REFLECTION)
自分とチームの成長を加速させる内省の技術」 熊平美香
マーケティング 山之内 公汰

あなたは「振り返り」について考えたことはありますか？僕は入社してから6ヶ月、日報を通して1日の振り返りを行っていますが、この「振り返る」という行為が自分自身に大きな力を与えてくれます。本書では、自分、そして組織の成長のためにリフレクション（内省）することの大切さについて紹介されています。

この本を読んでも気づきを得たのは、反省と内省の違いでした。この二つの大きな違いは主観的であるか客観的であるかにあります。よくその時の言動に良悪をつけ、二度と行わないように考えますが、内省においてこれは無駄な行為だということです。感情に流されず、自分自身を客観的に観察し自分を責めることなく、こういった価値観、考え方からその行動をとったのかを振り返ることが大切なんだと。図解はもちろんの事、簡単なフレームワークも紹介されていて、一度本を置いて実施してみたりと有意義な読み方のできる一冊でした！ Let's reflect it!